

吉岡町ゼロカーボンシティ宣言



近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、台風の大型化、集中豪雨や線状降水帯の相次ぐ発生など、全国各地で甚大な被害が生じております。

IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）は2021年に第6次報告書（AR6）を公表し、「人間活動が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」としており、地球温暖化は自然起源ではなく、人間活動が原因であることを示しております。

2015年に採択された「パリ協定」において「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」とする世界共通の長期目標を掲げています。

また、国においても、2020年10月に、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、2021年に改訂された「地球温暖化対策計画」においては「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく」とし、地方公共団体は、「その地域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガス排出量の削減のための総合的かつ計画的な施策を推進する」とされています。

吉岡町においても、「思いを紡ぎ、未来につなげる まちづくり 吉岡」の理念に基づき、次世代につなげる生活環境の充実のためにも、町民や事業者の皆様と連携・協働し、地球温暖化対策を推進し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言します。

令和5年12月13日

吉岡町長 柴崎 徳一郎